

復興宝くじ収益金の活用状況

平成 23 年度に東日本大震災からの復興支援を目的として発売された復興宝くじの収益金は、約 28 億円が仙台市に配当されました。令和 4 年度までの主な活用事業については以下のとおりです。

※金額は、事業費（事業全体の額）ではなく、復興宝くじ収益金の活用額です。

※令和 5 年度以降も、復興事業の財源として活用していく予定です。

事業名	被災宅地再建支援事業
活用額	21 百万円（平成 23, 24 年度）
事業概要	公共事業の対象とならない一定程度の被害がある被災宅地について、早期再建を促進するため、復旧費用の一部を助成しました。


事業名	市立保育所耐震補強事業
活用額	13 百万円（平成 24 年度）
事業概要	市立保育所（根岸保育所長町分園）の耐震補強工事を行いました。

事業名	震災対応首都圏プロモーション事業
活用額	16 百万円（平成 24 年度）
事業概要	震災の影響により悪化した経済環境・雇用環境を改善させるため、首都圏プロモーションの強化や各種セミナー等を行いました。

事業名	震災記録成果発信事業
活用額	34 百万円（平成 24 年度）
事業概要	<p>『仙台市史 通史編 現代』を編さんし、宮城県沖地震などの仙台の災害史について記述を行ったほか、震災の歴史や東日本大震災に関するパネルを製作し、博物館内外で展示会を開催しました。</p> <p>また、市内で被害を受けた文書等の被災状況調査、被災資料の保全活動を行いました。</p>

震災パネルの展示

被災した旧家での歴史資料文献等のレスキュー活動

事業名	防災資機材整備事業
活用額	20 百万円（平成 24 年度）
事業概要	<p>震災により使用、滅却したコミュニティ防災センターの防災資機材の補充、修繕等の再整備を行いました。</p>  <p style="text-align: right;">大野田コミュニティ防災センター</p>

事業名	中小企業利子等補給事業
活用額	418 百万円（平成 25 年度）
事業概要	<p>震災で被災し、罹災証明書の発行を受けた中小企業者で、本市融資制度等を利用した場合、その利子及び保証料の一部について、3 年間補給するものです。</p> <p>25 年度は、利子・保証料を合わせ、延べ 4,612 件に補給しました。</p>

事業名	東部復興道路整備事業
活用額	82 百万円（平成 25 年度）
事業概要	東部復興道路の整備を進めるため、用地取得に係る不動産鑑定料等に活用しました。

事業名	東部地域みどりの再生事業
活用額	4 百万円（平成 25 年度）
事業概要	<p>被災した東部地域のみどりを再生するために、若林区荒井土才敷公園での市民植樹等に活用しました。</p>   <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 荒井土才敷公園 植樹の様子 植樹に参加された皆さん </p>

事業名	避難所等防災対策整備事業
活用額	105 百万円（平成 26, 27, 29～令和 2 年度）
事業概要	<p>指定避難所となる学校等への太陽光発電と蓄電池を組み合わせたシステム導入費用及びシステムの維持管理や校舎等の改築に伴う移設費用に活用し、令和 2 年度までに 198 か所への導入を完了しました。</p> <p>※こちらでも事業を紹介しています。 https://www.city.sendai.jp/kankyo/kurashi/machi/machizukuri/energy/hinanzuopv/index.html</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>太陽光発電</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>蓄電池設備</p> </div> </div>

事業名	復興公営住宅建設事業
活用額	313 百万円（平成 26～28 年度）
事業概要	<p>復興公営住宅の整備費用の一部に活用しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>六郷復興公営住宅</p> </div> </div>

事業名	東部復興道路整備事業
活用額	501 百万円（平成 26 年度）
事業概要	東部復興道路の整備を進めるため、かさ上げ道路の用地取得や盛土工事等に活用しました。

事業名	被災者支援システム開発運用事業
活用額	55 百万円（平成 26, 27 年度）
事業概要	被災者への各種支援制度を関係機関で連携し円滑に実施するため、利用状況、支援状況等を一元的に管理し、きめ細かな被災者支援を行いました。

事業名	被災宅地防災集団移転事業
活用額	55 百万円（平成 26, 27 年度）
事業概要	<p>防災集団移転対象となっている区域内で復旧工事を行いました。</p> <p>※こちらでも事業を紹介しています。</p> <p>https://www.city.sendai.jp/takuchihozen/shise/daishinsai/fukko/takuchihigai/itensokushin.html</p>

事業名	災害用資機材整備事業
活用額	318 百万円（平成 26, 27 年度, 令和 2 年度）
事業概要	<p>避難所の備蓄物資(非常用給水袋・担架など)と新規指定避難所や補助避難所の災害用備蓄物資(発電機一式など)を整備するために活用しました。平成 27 年度は、簡易型防災資材倉庫 31 か所に炊飯装置一式を配備しました。また、新たに補助避難所として開設した西山コミュニティセンターに補助避難所用物資を配備しました。令和 2 年度は、全ての指定避難所（195 か所）へ災害用備蓄毛布の拡充配備を完了し、1 か所あたりの配備数を 100 枚から 400 枚としました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

事業名	東部道路側道街路樹復旧事業
活用額	20 百万円（平成 26 年度）
事業概要	<p>震災で被害を受けた東部道路側道の街路樹の補修を行いました。</p>
	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin: 0 20px; font-size: 2em;">➔</div>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 施行前 完了後 </div>

事業名	災害対応自家用給油取扱所整備事業
活用額	30 百万円（平成 26, 27 年度）
事業概要	<p>震災発生時に災害対応車両などへの燃料を安定供給するため、ガソリン・軽油を給油可能な自家用給油取扱所の整備を行いました。この施設は、震災等の大規模災害発生に備えた燃料備蓄のために活用されるのはもちろん、循環型備蓄の手法をとり、各消防車両の普段の給油にも活用されています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>宮城野消防署自家用給油取扱所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>泉消防署自家用給油取扱所</p> </div> </div>

事業名	エコモデルタウン検証事業
活用額	6 百万円（平成 30 年度）
事業概要	<p>震災時に長期にわたる停電（電源喪失）を経験したことを教訓に、エコモデルタウン事業にて、特定のエネルギーに過度に依存せず、暮らしに必要なエネルギーを自ら効率的に作り出すことのできるまちづくりを推進しています。</p> <p>平成 30 年度は、導入設備やシステムの現状を把握し、最適化や課題の洗い出しを行うとともに、事業期間（平成 24 年度～令和 4 年度）終了後の方向性を検討するための調査を行いました。</p>